

(1) 「数学教育の理論と実際」から

学習指導案：年間学習指導計画に基づき、毎時間の授業計画を一定の形式で記述したもの。

- ・年間学習指導計画：学習指導要領と教科書により学校・学年で作成。2 頁 1 時間で定期考査で区分。
- ・指導略案、学習指導案、指導細案がある。1 時間の展開を中心に単元全体を見通す記述が多い。
- ・単元全体を見通して、生徒の実態を踏まえ、その授業の指導の重点を明確にし、評価場面を設定。
- ・計画通りにならないことが多いが、計画がしっかりしていれば臨機応変の対応も可能。

(2) 「高等学校数学指導資料」から

学習指導計画は、年間、学期等の計画を基に、既習内容、学習内容、指導順序、使用教材等を明確化。

- ・生徒の学力、学習状況、態度を十分把握。
- ・導入、展開、まとめの内容、時間配分、指導上の留意点も記述。
- ・実践を常に振り返り、可能な限り修正・改善を志向。
- ・並行履修科目にも考慮。

(3) ネット資料「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」等から長所・短所

第1章4高等学校と第2章3. 算数、数学の中で、指導計画に触れられている。

- ・第1章4.(2)①「学び直しの充実」で、指導計画の作成の配慮事項の具体的な工夫を紹介
- ・第2章3.(2)③1「主体的・対話的で深い学び」の実現で、その学びの実現を確認・評価することを踏まえた指導計画等の作成が必要と主張。

(4) 自分の意見

学習指導案にはある程度の書式があるが、固定されたものではなく、時代にふさわしく重点とされていることを柔軟に取り込み、より望ましい指導が実現できるよう工夫・改善を志向することが重要。

- ・狙いを明確にし、その実現のための工夫を書き込む。
- ・教材観、生徒観、指導観の観点を明確に持つ。
- ・「学び直し」「主体的・対話的で深い学び」の観点を盛り込む。
- ・臨機応変の対応のためにも、確かな軸として指導案が具体的になっていることが大事。

(5) 出典(文献名、url 等)

文部省(1992).「高等学校数学指導資料」. pp.51-59.

文部科学省(2009).「高等学校学習指導要領解説数学編」. pp.1-6.

文部科学省(2016).「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」. p.104, p.144. (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf 2017/03/06 確認)

①数式は、 $y=ax^2+bx+c$ でも、 $y = ax^2 + bx + c$ でも、よい。②タイトル・ファイル名・メールタイトルの不備、項目・要約・箇条書き(3～5 項目)の不備・不足・超過、空白 8 行以上、(1)(2)(3)の出典記述もれ、等は減点。③ファイル名は、「教方 m 第2回「テーマ」(2 班 X14001 名前).docx」